

教科	芸術	科目	美術 I	学年	1	類型	選択者
単位数	2	教科書	Art and You (日本文教出版)				
副教材							

学習目標	美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価 A B C
1 学 期	創造へのいざない	・美術の活動の基本である創造活動の大切さを再確認し、美術への興味・関心・意欲を高める。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	立体で探る	・主体的に主題を生成しケント紙を使って創意工夫して試作の模型を作る。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	透視図法とイメージの空間	・ルネサンス時代の名画に使用された透視図法について効果を考えながら鑑賞する。 ・透視図法のシステムを知り基本的な技法を習得し透視図法を使ってイメージの空間を作り上げる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 学 期	単純化と抽象	・自然や身近なものを観察するなかで対象を単純化して表現を抽象化する方法を学習する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	心に残る情景	・生命感や情感などを大切にして生き生きとした表現の構想を練り、意図に応じて表現方法を工夫して表す	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	使いやすさを求めて	・生活用品など、身近なもののデザインについて親しみ、そのよさや美しさを味わうとともに、生活の中から生まれる願いや期待、デザインの意図や工夫などを感じ取る。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学 期	動く絵の楽しさ	・アニメーションの原理を知り、絵や立体の形・色の変化や動きの面白さを生かした表現をする。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	楽しく伝える	・見た人が楽しくなる様な、伝えるためのデザインを構想する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	見る・感じる・作る	・対象を観察することを通して得た感動や思い等を、対象の描写を大切に絵などで表現する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

学習方法	○作品制作では、習得した知識や技能を使い効果的に生かしてください。また、自分の純粋な発想を大切に、計画的に制作を進め見通しを持って取り組んでください。 ○鑑賞では、作者の思いや意図・工夫点を感じ取り、さまざまな価値観に気づき得る寛容さを養いましょう。さらには、自らの作品作りへと生かし、発展させていきましょう。
------	--

評価方法	①関心・意欲・態度 ②発想や構想の能力 ③創造的な技能 ④鑑賞の能力 の4つの観点より評価を行っていきます。題材によっては、2つの観点や3つの観点からのみ評価を行う場合もあります。
------	--

